BrooklynDAC+クロック入力選択表4

入力	フォーマット	IN	INT	WCK
S/PDIF(CDトランスポート)	CD	A	44.1KHz	44.1KHz
	MQA-CD	A	正常動作せず	正常動作せず
	MQA-CD【INT同期E】	A	44.1KHz	44.1KHz
	MQA-CD【WCK同期F】	A	44.1KHz	44.1KHz
AES(CDトランスポート)	CD	A	44.1KHz	44.1KHz
	MQA-CD	A	正常動作せず	正常動作せず
TOS(Bluetooth Receiver)	光S/PDIF出力	A	B(44.1KHz)	C(44.1KHz)
USB (PC to BrooklynDAC+)	PCMファイル音源	×	B	C
	MQA-CDリッピングWAV音源	×	44.1KHz	44.1KHz
	CD	×	B	44.1KHz
	MQA-CD	×	正常動作せず	正常動作せず
	DSDファイル音源	×	B	44.1KHz
USB (fidata to BrooklynDAC+)	PCMファイル音源	×	B	C
	MQA-CDリッピングWAV音源	×	44.1KHz	44.1KHz
	CD	×	B	44.1KHz
	MQA-CD	×	B	44.1KHz
	DSDファイル音源	×	B	44.1KHz
SDIF(SDIFトランスポート)	DSDストリーミング	×	×	D

A：入力元音源のサンプリング周波数に合わせて動作
　44.1KHz

B：入力元音源のサンプリング周波数に合わせて動作し、マスタークロックとする
　44.1KHz～192KH z

C：入力元音源のサンプリング周波数に合わせて下記から選択して入力
　44.1KHz/88.2KHz/96KHz/176.4KHz/192KHz

D：入力元（DA-3000など）のクロックに合わせて動作
E：Brooklyn DAC+のクロックの設定を44.1KHz（INT）に設定し、そのクロック出力をトランスポートに入力
F：クロックディストリビューターを使用し、Brooklyn DAC+のクロックの設定をWCKにして、トランスポートとBrooklyn DA(
註1：AES入力について追加した。
註2：S/PDIF入力の場合のクロック同期Eと同期Fについて追加した。
要約：CDトランスポートからS/PDIF入力によりMQA-CD再生の場合、CDトランスポートによりMQAのデコードができない場合
PCによるMQA-CDもしくはリッピングWAV音源再生の場合、再生ソフトによりMQAのデコードができない場合がある。
再生ソフトもしくはSOUNDでアップサンプリングした場合は個別対応が必要
S/PDIF入力の前にクロックの打ち直しをする機器を介在させると、MQA-CD再生の場合、MQAのデコードができない場合が

C+にクロックを分配